

「北条時宗」ゆかりの地を訪ねて

- 1 円覚寺 開基は北条時宗。山ノ内に所在。臨濟宗。鎌倉五山第二位。国指定史跡・名勝。国宝の舍利殿をはじめ彫刻等指定文化財を多く所蔵。開基時宗の塔所は、塔頭の仏日庵にある。北鎌倉駅から徒歩1分

- 2 仏日庵 臨濟宗円覚寺の塔頭。北条時宗の墳墓堂として造営され、妻の覚山尼・北条貞時も葬られ、北条氏得宗家の廟所になっている。開基廟に時宗・貞時・高時三人の各法体木造像をまつり、北条家歴代の位牌をも安置している。円覚寺内

北条時宗 鎌倉幕府第八代執権。時頼の子。異国警固役の武士を西国に送り元軍の来襲に備えるばかりでなく、異国出兵をも準備した。博多湾沿岸を中心に石塁を築かせた。元は宋軍を加えて来襲したが、幕府軍の奮闘と大風で壊滅した。円覚寺を創建。屋敷は小町、現在の宝戒寺の辺りにあった。(1251~84)

- 3 東慶寺 開基は北条貞時。山ノ内に所在。臨濟宗。開山は覚山尼で、北条時宗の妻。時宗が死んだ翌年にこの寺を開創したという。円覚寺から徒歩4分

北条貞時 鎌倉幕府第九代執権。時宗の子。覚園寺を開いたのをはじめ、仏教をも厚く保護した。廟所は円覚寺塔頭仏日庵。(1271~1311)

- 4 覚山尼の墓塔 東慶寺を開いた。墓塔は東慶寺内の墓地に建ち、木造の肖像彫刻も伝わる。

覚山尼 父は安達義景、母は北条時房の女。時宗に嫁し、時宗の臨終に際し出家。東慶寺を開いた。墓塔は東慶寺内の墓地に建ち、木造の肖像彫刻も伝わる。(1252~1306)

- 5 浄智寺 北条宗政の菩提を弔うため、宗政の妻と子息師時とが開創。山ノ内に所在。臨濟宗。鎌倉五山第四位。国指定史跡。東慶寺から徒歩5分

北条師時 鎌倉第十代執権。武蔵守・評定衆等を歴任。(？~1311)

- 6 明月院 北条時宗が建立した禅興寺(時頼が建立した最明寺を再興)の塔頭。禅興寺が廃寺になり、明月院だけが残った。山ノ内に所在。臨濟宗。国指定史跡。境内入口近くには、北条時頼墓という変形の宝篋印塔がある。浄智寺から徒歩5分

- 7 建長寺 開基は北条時頼。山ノ内に所在。臨濟宗。鎌倉五山第一位。国指定史跡・名勝。彫刻等指定文化財を多く所蔵。浄智寺から徒歩10分

北条時頼 鎌倉幕府第五代執権。時氏の子。松下禅尼は母親。三浦泰村以下一族郎党を法華堂に自害させた。時宗の父親。伝墓塔は明月院にある。執権を長時に譲るが、その後も政治に関与し、権勢をふるった。(1227~63)

- 8 覚園寺 開基は北条貞時。二階堂に所在、真言宗。薬師堂や地藏堂など境内は国指定史跡。彫刻等指定文化財を多く所蔵。 鎌倉宮から徒歩12分
- 9 宝戒寺 開基は後醍醐天皇。小町に所在。天台宗。北条高時の菩提を弔うために、高時の邸址に建立したといわれる。 建長寺から徒歩20分
- 10 東勝寺跡 開基は北条泰時。小町に所在。廃年は明らかではない。臨済宗の寺院であった。北条高時ら一門がここにこもって自害したが、その遺骨を葬った所といわれている腹切りやぐらがある。 宝戒寺から徒歩8分

北条高時 貞時の子。足利尊氏、新田義貞の攻めにより、一族とともに東勝寺で自殺。ここに幕府は滅ぶ。(1303~33)

- 11 金沢貞顕の自刃所 北条氏滅亡に際し、東勝寺で自刃

金沢貞顕 高時のあとをうけて執権職についた。北条氏滅亡に際し、東勝寺で自刃。北条一族の武将。(1276~1333)

- 12 安国論寺 開山は日蓮。大町に所在。日蓮宗。日蓮が籠って「立正安国論」を執筆したという巖窟も残る。本堂には本尊木造日蓮上人坐像がまつられている。 鎌倉駅から徒歩25分

日蓮 日蓮宗の宗祖。北条時頼に「立正安国論」を上書した。主な活動の舞台が鎌倉であったため、鎌倉の地に、辻説法跡といわれる遺跡がある。(1222~82)

- 13 浄光明寺 開基は北条長時。扇ガ谷に所在。真言宗。北条時頼と長時の発願で建長三(1252)年に真阿を開山住持として創建された。 鎌倉駅から徒歩15分

北条長時 鎌倉幕府第六代執権。重時の子。時宗の成長を待つ間、いわば代理の形で職を預けられた。実権は出家した時頼の手に握られていた。浄光明寺で没し同寺に葬られた。(1230~64)

- 14 甘縄神明神社 長谷の鎮守。鎌倉で一番古く、和銅年間(708~715年)にこの辺りの豪族、染谷太郎時忠が創建したといわれている。この付近に安達氏の屋敷があったといわれ、入口には「安達藤九郎盛長屋敷跡」の石碑が立っている。急な石段の下には、北条時宗の産湯に使ったといわれる井戸があり、「北条時宗公産湯の井」の札が立っている。 長谷駅から徒歩10分

- 15 極楽寺 開基は北条重時。極楽寺に所在。真言律宗。北条重時が造りかけた寺を子ども長時・業時が力を合わせて完成させたらしい。重時の墓はこの寺にある。 極楽寺駅から徒歩2分

北条重時 義時の三男。相模守・駿河守等を歴任。時頼に招かれ連署となる。極楽寺を開く。墓はその極楽寺にある。(1198~1261)

出典：鎌倉事典(東京堂出版)

発行/鎌倉市観光商工課 〒248-8686 鎌倉市御成町18-10

TEL 0467-61-3884

観光商工課 HP アドレス <http://guide.city.kamakura.kanagawa.jp/>